



データ連携設定方法 ~SFA顧客情報→顧客DB~

No.KK1901-02

SFA : WaWaFrontire DB : WaWaD-be



データ連携設定方法の概要







SFAの顧客情報に登録された内容を作成した顧客管理用のデータベースに連携させます。 データ連携はSFAの顧客情報が保存された時点で連携されます。

出力形式(項目)を作成
 管理者SFA設定→顧客情報CSV出力形式一覧
 出力したい項目を選択し名前を付けて保存します。

2.取込形式(項目)を作成 管理者データベース設定→対象データベース書式 →取込

取り込みたい項目を選択し保存します。

3.連携の設定

データ連携設定→データ連携設定

1、2で作成をした出力形式と取込形式を選択し保存します。



2

データ連携設定方法【SFA】



1.出力形式(項目)を作成 管理者SFA設定→顧客情報CSV出力形式一覧

出力形式名 *	顧客マスタエクスポート	_					
出力ファイル名 *	顧客マスタエクスポート.csv	拡張	子まで入力し	てください。			
見出し出力	◎ 無し ◉ 有り						
日付フォーマット *	Ym						
日時フォーマット*	Ym						
項目囲み文字	"						
項目区切り文字	カンマ・						
2 基本情報更新	◆── 登録する	場合は、	、必ず「基本情	「報更新」をクリ	ックしてください ^{出力取ざ項目}	۱ _o	
Q					山川水山相日		
				項目名	登録値	登録項目順	更新
【顧客】(固定項目)外部 【顧客】(固定項目)名和 【顧客】(固定項目)かな 【顧客】(固定項目)が	部連携ID ▲ 項 称 ↓ 更番号	目を選折	てし (^{非表示}	与の出力形式 「顧客」 「固定項目」 外部連携ID	目に移動して	ください。 ↑ ↓	更新
(顧客)(固定項目) エリ (顧客)(固定項目) 住所 (顧客)(固定項目) 住所 (顧客)(固定項目) 住所	ア 所1 (都道府県) 所2 (市町村、番: 話番号		« 非表示	【顧客】 【固定項目】 名称		$\uparrow \qquad \downarrow$	更新
【顧客】(固定項目) FA (顧客)(固定項目) FA (顧客)(固定項目) 代 (顧客)(固定項目) 木- (顧客)(固定項目) 輛 (顧客)(固定項目) 輛	項目】FAX 項目】代表メール 項目】ホームページ 追加 違加		《 非表示	【顧客】【固定項目】 かな		$\uparrow \qquad \downarrow$	更新
【顧客】(固定項目) 52 【顧客】(固定項目) 52 【顧客】(固定項目) 種類 【顧客】(固定項目) 備報 【顧客】(固定項目) 備報	⇒//mg (上)ク 引 考 マロ		《 非表示	【顧客】【固定項目】 顧客属性 		$\uparrow \qquad \downarrow$	更新



データ連携設定方法【DB】



2.取込形式(項目)を作成 管理者データベース設定→対象データベース書式→取込

	副協協に 国協協に Image: Station and Station an	形式名				利用権限					
WARD	WXXUS	唐弱取れ									
	第日 Bublin 定要新目を現在時刻で更新する 第日 Bublin 定要新目を現在時刻で更新する 建築情報 Bublin 定要新目を現在時刻で更新する 第日 Bublin 定要情報をグリアする 第月目標報 #現設定>> # 項股支>> #項股支>> # 項股支 #現設 # 項目 #現上 「日 「日本 「日本 BUL 「日 「日 「日	以正形式名*	顧客情報取込					•			
	磁情報 ■ 取込時に磁防情報をクリアする 明相複報 ■ 取込時に磁防情報をクリアする オ用橡擬が未設定の場合、基本設定の橡擬が使用されます。 確限設定>> キー項目が存在しないデータベースの場合、温玥IDをキーに更新処理を行います。 項目 「デキスト)携帯電話2 (デキスト)携帯電話2 (デキスト)携帯電話3 (デキスト)提示のドレス3 (第名) (世界) 「デキスト)携帯電話3 (デキスト)提示電話2 (テキスト)提示電話2 (テキスト) (テキスト) (テキスト) (テキスト) (テキスト) (テキスト) (テキスト) (テキスト) (テキスト) (テキスト) (テキスト) (テキスト) (テキスト) (テキスト) (テキスト) (テキスト) (テキスト) (テキスト) (テキスト) (アクト	更新日	□ 取込時に更業	所日を現在時刻で	更新する						
#用権限が未設定の場合、基本設定の権限が使用されます。 #保設定>> #保設定>> #保設定>> #保設定>> #保設定>> #F-項目が存在しないデータペースの場合、識別IDをキーに更新処理を行います。	明備限 **利用機関が未設定の場合、基本設定の機関が使用されます。 種限設定>> キー項目が存在しないデータベースの場合、識別IDをキーに更新処理を行います。 項目 「デキスト]携帯電話2 (デキスト]携帯電話2 (デキスト]携帯電話2 (デキスト]携帯電話2 (デキスト]携帯電話3 (数字) (ボナ) 「デキスト]携帯電話2 (デキスト]洗・ルアドレス1 (デキスト] 「デキスト]洗・加アドレス2 (デキスト]メールアドレス3 (国定)開別ID 「ビデオ、レンターン2 (テキスト) 「ビデオ、ト) 「ジェット」 「ビデオ、ト) 「ビデオ、ト) 「ビデオ、ト) 「ビデオ、ト) 「ビデオ、ト) 「ビデオ、ト) 「ジェット」 「ビデオ、ト) 「ジェット」 「ビデオ、ト) 「ジェット」 「ジェット」 「ビデオ、ト) 「ジェット」 「ビデオ、ト) 「ジェット」 「ジェット」 「ジェット」 「ジェット」 「ジェット」 「ジェット」	兄読情報	□取込時に既認	売情報をクリアする							
##照設定>> # # # # 項目 (数) (数) (数) (1) (数) (1) (1) (1)	# 理設支>> # 中国目が存在しないデータベースの場合、識別IDをキーに更新処理を行います。 項目 取込項目 アキスト) 携帯電話2 アキスト) 携帯電話3 デキスト) 携帯電話3 (放字) デキスト) メールアドレス2 **: SFAの出力形式に合わせて設定する必要があります。 (放字) *: SFAの出力形式に合わせて設定する必要があります。 (放字) *: SFAの出力形式に合わせて設定する必要があります。 (放字) *: SFAの出力形式に合わせて設定する必要があります。 (方キス) 一 「デキスト)メールアドレス3 (「テキス) (方キス) 一 (方キス) 一 「 (テキス) 一 (方キス) 一 (方キス) (「テキス) (「テキス) (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」 (」	1 00 48 70	※利用権限が未	、設定の場合、書	本設定の権限が	使用されます。					
正日	第日 取込項目 「「キスト)携帯電話1 「テキスト)携帯電話2 「テキスト)メールアドレス2 「テキスト)メールアドレス2 「テキスト)メールアドレス3 [国定]運動10 「「テキスト」メールアドレス3 [日定]運動10 「「テキスト」メールアドレス3 [日定]運動10 「「キスト」メールアドレス3 「テキスト」メールアドレス3 「テキスト」メールアドレス4 「「テキスト」 「「テキスト」 「「「「」」」 「「テキスト」 「「「」」」 「「」」」 「「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」」 」」」」」	利用榷限	佐田設定へい								
		※キー項目が存在しな 項目 【テキスト】携帯電話1		場合、識別IDな 目を選打		^{を行います。} で右の取辺	取込項目	移動して	ください。		



SFAで設定をした出力形式とDBで設定をした取込形式は同じにする必要があります。





出力 項目名		取込 項目名	DBで作成した 項目名	選択項目への 表示
外部連携ID		顧客No	顧客No	選択可能
名称		·顧客名	顧客名	選択可能
かな		かな	かな	選択可能
郵便番号		· 郵便番号	郵便番号	選択可能
エリア		【特殊】非取込項目	エリア	他のDBマスターと連携 のため選択不可
住所1		住所1	住所1	選択可能
住所2	<u> </u>	· 住所2	住所2	選択可能

「取込」の対象となる「出力」とは、<mark>項目の並び順と項目数を同じ</mark>にする必要があります。 例えば、エリアマスターDBを作成していて郵便番号を入力するとエリアが表示されるという連携設定を していた場合、「取込」設定の選択項目として「エリア」は表示されません。 その場合は、項目数を合わせるために「【特殊】非取込項目」を追加します。

データ連携設定方法【データ連携】



3.連携の設定 データ連携設定→データ連携設定

設定名 *	SFA顧客→顧客DB
状態	^{図 有効} 送信元データを選択すると出カパターンに設定をした名称が選択肢として表示されます。
	送信元データ 出力パターン フィルタ(※2)
データ送信元	SFA顧客 ▼ 顧客マスタエクスポート▼ 重要顧客(Aランク)
	(※1) ワークフローは決裁済みの申請のみが対象になります (※2) フィルタ条件は任意です。利用者を条件としたフィルタは反映されません。 CSV取込等で連携対象データが100件を超える場合は自動連携されません
	送信先データ 取込パターン ンズーク 取込パターン ンズーク ないのでの ないたいのでありた
データ送信先	データベース ▼ 【営業管理】1.顧客管理 ▼ 顧客情報取込 ▼ 区信元ナーダを選択するこ取込パダーノに設定をした 名称が選択肢として表示されます。
	(※3)外部テーダ連携は定期的にテーダ連携が実行されます。 また外部データ連携については連携対象データの件数上限はありません。
備考	
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□



6